



発行所 全大阪消費者団体連絡会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2丁目1番19-430

TEL.06-6941-3745 FAX.06-6941-5699

<https://osakacon.org/>

発行人 全大阪消費者団体連絡会

印刷 株式会社 耕文社

個人購読料 年間5,000円(送料込み・消費税別)

購読料送金先 (口座名・全大阪消費者団体連絡会)

郵便振替口座 00900-9-8320

三井住友銀行天満橋支店 普通預金口座 0969062

近畿労働金庫大阪中央支店 普通預金口座 1161622

気候危機への声—大阪から、ネパールから

産業革命後の地球平均気温の上昇が1.5℃を超えることが避けがたく、その超過を引き下げる対策が必要とされる今、日本と世界で、熱波、豪雨、洪水などが頻発し、多くの命が失われ、生態系が破壊されている。

この危機への対策強化を訴える世界同時アクションの呼びかけに応え、「世界気候アクションin大阪」が、9月27日に大阪消団連を含む18団体・個人の実行委員会により取り組まれた。

このアクションには、8月26日に大規模な氷河融解による土石流被害をうけたネパールから、第20回アジア競技大会の視察などのため来日していた野球・ソフトボール協会が野球競技の決勝戦視察をキャンセルし、急遽参加した。

「気候正義」を呼びかけ

今年のアクションでは、気候変動の原因を生み出した責任と、被害や対策の負担が偏っている現状を見直し、国や地域、世代を越えて公平な解決をめざす「気候正義」が大きなテーマになった。

大阪市中心公会堂での“Main Talk”では、世界第5位の温室効果ガス大量排出国・日本の政府に対し、その責任に応じた対策強化を求める気候正義訴訟弁護団代表の島昭宏さんが問題提起を行った(写真右)。

“みんなTalk”では、実行委員会団体の活動報告とともに、甚大な被害を受けたネパールの状況を伝えるビデオメッセージ*が紹介された。



「地球なくしてスポーツなし」

集会後、雨の中、大阪市中央公会堂前から西梅田公園まで気候マーチを実施。参加者は「気候危機STOP」、「化石燃料・原発をやめよう」、「再生可能エネルギー100%へ」、「気候正義でいこう」とアピールした。ネパール野球・ソフトボール協会のディパック・ネウパネ会長も参加し、「Climate Justice for Nepal」などと記した横断幕やメッセージボードを手に行進した(写真上)。

ネウパネ会長は、出発前集会で、ネパールで数千人の命と暮らしが失われ、1ヶ月が経った今でも厳しい状況が続いていることを報告。ネパールは温室効果ガスを多く排出する国ではないにも関わらず、温暖化による深刻な影響を受けていると指摘し、被災地に寄せられた支援への感謝も伝えつつ、「気候危機に対して、世界が共に行動する必要がある。私たちが生きる地球がなくなれば、スポーツも私たちの未来もない」と参加者に訴えた。

※ネパール・ビデオメッセージ

<https://t.co/Y6TSFnkULP>

主な内容

気候危機への声—大阪、ネパールから	1
特商法等検討会中間とりまとめへの意見	2~3
大阪府・住まうビジョン案へ意見提出	4~5
関西消懇質問への関西電力の回答	6~19
ニュースピックアップ	20